

Goods Press

グッズプレス



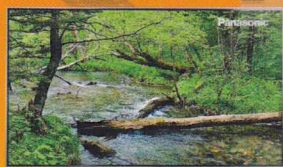
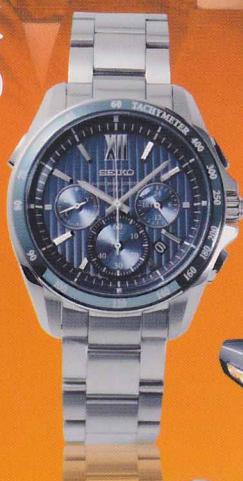
高級コンデジが
大変なことになっている!



物欲を
ソノる



巻末特集
秋冬版・男の
身だしなみは
Vゾーン!



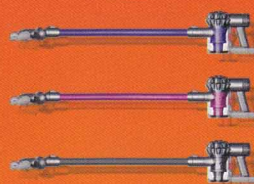
薄くて軽くて
見やすいぞ!
スマホ・
タブレット・PC



男が選べる
“白モノ家電”が来た!



コレは
欲しい!



未来の乗り物は
すぐそこまで
来てる!



筋引包丁

肉の繊維(筋)を切り落とすために作られた細身の洋包丁。刃渡りは21〜30cmと短めで、細かな作業に向く。出刃より薄く牛刀より厚みがあるので、切れ味良く、骨にあたっても刃こぼれしにくい



切れ味が鋭く、手返しの良い
職人から愛される二本
人生を
変えた包丁

使いやすいさに惚れたこだわりの道具

「この包丁に出会う前は、料理の真の魅力に気づいていなかった」という、四万十町の料理人・武市竜太郎さん。家業の食堂を手伝い始めた頃、父親から1本の包丁を贈られる。それが筋引包丁だ。現在は業者から紹介された「南常」の筋引包丁を使う。「骨付き肉をさばく際も骨にスパッと刃が入るし、魚を下ろすにも重宝。刃の厚みと重さのバランスが良く、刃渡りが短くて小回りが利き、どんなシチュエーションでも応えてくれる。包丁を使いこなし、納得のいく料理ができるようになると俄然作るのが楽しくなる。仕事ではなく、純粋に料理が面白いと思うようになった。最初の1本がいい出会いでしたね」

武市竜太郎さん

料理人。四万十町の地元で愛される食堂「満州軒」の三代目。高知県・四万十の豊かな食材や風土を紹介するブランド「四万十ノ」発起人のひとり

“軽量家出セット”
フロントバッグ!

今はなきアルプスによるツーリング車「スーパークライマー」のフロントバッグには、カメラ(ローライ35。なんと純正フード付き)、露出計(コシナ)、外付けシャッタータイマー(ミノリ)、ビノキュラー(ニコン)の光学機器のほか、平野さんオリジナルサコッシュ、手ぬぐい、財布が入る

“軽量家出セット”
サドルバッグ!

アルプス社純正サドルバッグには、ストーブやクッカーなど調理道具、雨具、輪行袋、工具類、軍手、ミッドウエアとしてのベスト、風呂敷を装備。右側下に敷いているのは一澤帆布のアタックザック。サドル&フロントバッグに収まらない際、威力を発揮するそう



映画監督

平野勝之さん

1964年生まれ。数多の異色AV作品を手がけ、『由美香』(1997)が話題に。最新作は『監督失格』(2011)。文筆家、写真家の顔を持ち、近著に『旧型自転車主義』(山と溪谷社)がある。フィルムカメラをはじめ、道具はすべてアナログ主義。アルプスの自転車も6台所有。

が、装いに箔を付けることも必要なんです。だって、精神的なゆとりが生まれますから。焚き火を囲んで酒を飲み、タバコの煙をくゆらせるとき、この姿であるかどうかで、満足度が大きく違ってきますね」
上下で40万円弱のスーツで野外遊びは覚悟がいるが…。
「ツイードは着れば着るほど、自分の体に馴染むもの。値段は張りますが、こ丁寧に着てたまるか!と容赦なく着続けてます。誤解があると困りますが、容赦なく雑ではありせん。道具全般に言えますが、しめるべき方法で使い倒せば、道具も服も自分にとってかけがえのない存在になってくれるんです」